

2009年10月1日～

# 住宅瑕疵担保履行法に対するそなえ



床下の湿気編

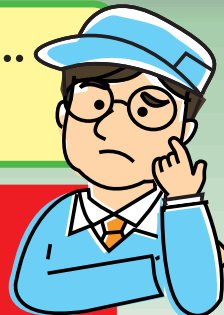
## 結露 床下にカビ発生! 腐朽菌



原因



換気不足。シロアリ発生は対象外だけど…  
これって構造物の強度劣化につながるんじゃ？



湿気の逃げにくい現代の構造は  
自然換気だけでは換気不足に！

※日本は多雨多湿で温度が高く床下は湿気がこもりやすい状態。  
※基礎パッキング工法も例外ではありません。

とくにベタコンの初期放湿にご注意を！

※築後1～3年程は、コンクリートが水分を放出します。

このままじゃ 10年経過後 が心配!



自然劣化だとも  
言えないし…

10年たったら  
施主負担  
なんでしょ？



このまま放っておいて  
木材が腐ったら修復費用も重む

早めに、きちんと対応しないと…ユーザーさんとの関係悪化？

安心



そこで！転ばぬ先の杖。  
床下の強度保持・結露・カビ  
対策に有効な床下換気  
をおすすめします。



普段、ユーザーさんが管理しにくい  
場所だけに対策が必要です。



須貝教授も  
推奨！

工学博士/一級建築士 須貝 高氏  
福岡大学工学部建築学科教授  
すまいづくり研究会主宰。健康住まいづくり研究  
会主宰。各種雑誌・新聞ほか、テレビに出演する  
など、幅広く活動中。

- ・住宅性能評価もUP!
- ・品確法における基礎部劣化の軽減にも。